

1.基本戦略の推進

(1)先端性・伝統に基づく競争力のある企業の育成

- ①新技術の導入、付加価値の高い製品開発に資する研修会の開催
- ②省力化、生産効率の向上に資する研修会の開催
- ③ものづくり企業交流会の開催
- ④食のブランド化及び加工食品等の開発・販路開拓に係るセミナーの開催
- ⑤高等教育研究機関及び研究成果に基づく企業との情報交換会の開催

(2)魅力ある商店の育成と中心商店街の賑わいづくり

- ①鶴岡TMO事業の推進
 - ・魅力向上セミナー及びディスプレイコンテストの開催
 - ・空き店舗の活用に向けてのチャレンジショップの推進
 - ・観光コンサルジュ事業
 - ・商店街活動の支援
- ②つるおかの元気・安全な店づくりの推進
- ③第二期中心市街地活性化基本計画に基づく事業の推進

(3)「自然」「歴史」「文化」をテーマとした観光の推進

- ①酒井家入部400年と連携した城下町観光の推進
 - ・まちなか情報の充実及び城下町ウォーキングの開催
 - ・庄内藩をテーマとした土産品の開発
 - ・花見ぼんぼりの設置及び桜まつりの支援
- ②日本遺産・食文化を活用した観光の推進
 - ・「出羽三山詣で・食と銘酒で語らう旅」プロジェクトの推進
 - ・鶴岡ツーリズムビューロー等との連携による旅行商品の企画
- ③ウィズコロナに資する研修会の開催
- ④鶴岡まつり振興会議との連携による天神祭・庄内大祭の拡充

(4)若者の地元就職の促進と意欲ある事業所の取組みを支える人材の育成

- ①高校新卒者・鶴岡高専生・山形大学農学部生等の地元就職の促進
 - ・高校生向け企業紹介ガイドブックの製作
 - ・鶴岡高専保護者及び山形大学農学部生向け企業説明会の開催
- ②企業の人材確保、能力向上の支援
 - ・人事担当者のスキルアップ研修会の開催
 - ・新入社員教育セミナー及びフォローアップセミナーの開催
 - ・各種技能検定試験及び講習会の開催
- ③女性・シニア層の活躍に資するセミナーの開催
- ④テレワーク等新しい仕事の在り方に係る研修会の開催

(5)産業振興・地域活性化に向けた社会基盤の整備

- ①高速交通網の早期整備に向けたシンポジウムの開催
- ②庄内空港の機能拡充に向けた研修会等の開催
- ③社会基盤整備に向けた活動への参加
- ④まちなか居住、高度利用及び景観形成に向けた意見交換会の開催
- ⑤鶴岡公園の城址公園としての整備及び活用に向けた意見交換会の開催
- ⑥公共事業の確保に資する研修会の開催

(6)経営発達支援計画に基づく伴走型支援の充実

- ①経済動向、需要開拓等に関する調査及び情報提供
 - ・経済動向、需要開拓等に関する調査及び情報提供



市への要望

より積極的に果していく所存である。
このような観点から、令和2

年度に、計画策定以降の社会・経済情勢の動向、これまでの取り組みの成果及び課題、鶴岡市等の政策、会員事業所・有識者からの意見などを踏まえ、中期行動計画の見直し及び第2期経営発達支援計画の策定を進めてきた。

令和3年度からは、見直し後の中期行動計画及び第2期経営発達支援計画に基づく各種事業を展開することにより、会員事業所の負託に応えていくが、その推進に当たっては、これまで以上に関係機関との連携を深め、

効果的・効率的な取組みとなるよう努めるとともに、これを成し得る組織・財務基盤の構築を図ることとする。

なお、新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響の多寡、長期化の懸念を考慮し、国、県、市の経済対策を注視しつつ、補助事業及び令和2年度からの繰越財源を活用し、適切かつ積極的に事業の追加・拡充を講じることも想定しているところである。

ウィズコロナ、アフターコロナともいわれるように、イン

ターネット購入、マイクロツリーズム、テレワーク、オンライン会議の拡大など、ライフスタイル、社会・経済活動は少子高齢化の進展と相まって、大きく変化しつつあるが、「令和」という時代を明るく展望を持って歩むため、鶴岡商工会議所は、この地域の総合経済団体としての役割をより積極的に果たし、会員事業所・市民にとって、よりお役に立つ存在となることを目指す所存である。



事業所顕彰

コロナへの対応・変化を捉え 次の展望を拓く



サービス部会視察研修(キッズドームソライ)

2月の政府月例経済報告は、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているもの、一部に弱さがみられる。」とし、先行きについても「緊急事態宣言の解除後も感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくこ

とが期待される。ただし、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。」との判断を示している。

当会議所の景況調査では、令和2年4月から6月期は業況、売上げ、採算及び資金繰りとも、東日本大震災発生時をも下回るものとなったが、7月から9月期及び10月から12月期は、国等の感染症拡大防止策、経済対策の効果により、持ち直しの動きがみられている。しかしながら、昨年11月からの感染拡大は、観光業、飲食業を中心に深刻なダメージをもたらしており、会員事業所からは、事業の継続及び従業員の雇用の維持に向けて、国・県・市による迅速かつきめ細かい支援を求める意見が寄せられている。

当会議所においても、引き続き、会員事業所の状況・支援のニーズの把握に努めながら、国、県、市において、ワクチン接種等

の感染拡大防止対策、地域の経済・雇用の状況に即した経済対策が講じられるよう、提言・要望活動に努めるとともに、経済対策に係る情報提供及び活用の支援、地域経済の早期回復に資する事業を展開する所存である。

一方、令和2年12月末の本市



職業観醸成セミナー(高校2年生就職ガイダンス)

の感染拡大防止対策、地域の経済・雇用の状況に即した経済対策が講じられるよう、提言・要望活動に努めるとともに、経済対策に係る情報提供及び活用の支援、地域経済の早期回復に資する事業を展開する所存である。

一方、令和2年12月末の本市

人口は124,003人、この一年間の出生者は691人、死亡者は1,777人、転入者は2,363人、転出者は2,758人であり、前年末に比較し、1,497人の減少となっている。

また、本年1月末現在、今春高校を卒業する者は1,433人、就職を希望する者は397人であり、ハローワーク鶴岡管内の企業から720人の求人があったものの、就職内定者は県内284人(男子190人・女子94人)、県外97人(男子72人・女子25人)、県内就職率は昨年同期に比べ5.6ポイント増の74.5%となっている。なお、鶴岡高専及び大学を卒業する者の内、就職を希望する者は鶴岡高専が88人、大学が122人であるが、県内への就職内定者は、鶴岡高専が32人、大学19人に止まっている。

このように鶴岡市においては、出生数の低下、若年層の流出により、人口減少に歯止めが掛

からない状況が続いており、その影響は、経済・産業分野での人材確保にとどまらず、地域経済の縮小などの形で現われている。

鶴岡・庄内における人口減少の抑制とともに、このような状況下での地域の活性化を図っていくためには、バイオテクノロジー・ライフサイエンス分野における事業集積、ユネスコ創造都市ネットワーク食分野への加盟、「出羽三山」を始めとする三つの日本遺産の認定、入部400年を迎える酒井家・庄内藩の城下町としての伝統・文化など、これら産業資源をより積極的に活用し、若者の地元定着、持続的な成長への取組みを促す必要があるが、当会議所は、その役割を



◇るめウオーク

通常議員総会

通常議員総会が三月二十六日、鶴岡市のグランドエル・サンで開かれ、中期行動計画の見直し、令和3年度事業計画と収支予算など十議案を原案通り可決した。役員選任では、岡島克之副会頭と加藤淳一専務理事が辞任し、後任の副会頭に池田桂太オリエンタルモーター鶴岡カンパニー執行役員社長、専務理事に高橋健彦氏を選任することに同意した。

中期行動計画の見直しでは、計画期間を当初から一年延長して平成二十七年～令和七年度とし、基本方針に人口減少スピードの抑制と企業人材確保、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済への積極的な対応を追加するとともに、地域内での消費・取引の拡大や観光誘客の強化を新たに重点事業とした。

令和3年度の事業計画には、省力化・生産効率の向上ウイズコロナやテレワーク、公共事業の確保、次世代の産業・経済リーダーの育成などに関する研修会の開催を盛り込んだ。また鶴岡・庄内を知る講座を継続する。

一般会計、経営支援特別会計、共済事業特別会計などを合わせた令和3年度の総括収支予算(会計間繰入除く)は四億五千五百万円とした。

役員選任では、常議員に三浦茂行山形銀行鶴岡支店長、長谷川喜美子山形サンダー社長、岩崎信幸水澤化学工業水沢工場長、監事に渡辺琢治きらやか銀行鶴岡中央支店長の選任にも同意した。任期は、いずれも四月一日から来年十月末まで。

新役員



副会頭
池田 桂太氏
オリエンタルモーター株式会社 鶴岡カンパニー執行役員社長



専務理事
高橋 健彦氏

職員紹介

令和3年度 鶴岡商工会議所

専務理事
兼事務局長

高橋 健彦

事務局次長 七森 玲子

総務企画課

課長	七森 玲子
総務係 係長	三浦 千博
総務係 主任	中村 映子
総務係 主任	進藤 孝子
公益財団法人 庄内地域産業振興センター 出向 主任	齋藤 智哉
企画係 係長	佐藤 俊和
企画係 主事 補助員	後藤 富実

経営支援課

課長	丸山 奈美
経営指導員	
経営支援係 主任 経営指導員	森村 雄一郎
経営支援係 主任 経営指導員	相田 涼
経営支援係 経営改善支援員	寒河江 澄
経営支援係 主事 記帳専任	佐藤 成浩
経営支援係 主事 記帳専任	菅原 秋穂

事業係 係長 経営指導員	森村 とも子
事業係 主事 経営指導員	齋藤 豪介
経営支援係 主事 補助員	
安達 亜未	(令和3年4月入所)

新会員登録

どうぞよろしくお願いたします。

齋藤中小企業診断士事務所

コンサルティング
齋藤 直樹

リラクゼーションサロン LOM

リラクゼーションサロン
大場 舞
鶴岡市新形町15-11

blanc blanc gastropub

ガストロパブ
五十嵐 督敬
鶴岡市末広町6-10

鶏料理 慶

ラーメン店
高橋 慶太郎
鶴岡市本町一丁目5-35

肉菜バル NiGoo

レストラン
渡邊 一史
鶴岡市馬場町5-38

冷温機械 株式会社

設備工事業
佐藤 透
鶴岡市高田字上村82-3

つるおかエコ・アース 株式会社

廃棄物処理施設および関連施設運営管理
伊東 孝郎
鶴岡市白山字西木村56-1

会員登録変更

代表者変更

有限会社 矢島交安システム	代表取締役 渡部 誠
有限会社 写真の松森	代表取締役社長 山口 純一
日本郵便 株式会社 鶴岡郵便局	局長 増村 拓
公益社団法人 山形県トラック協会 庄内支部	支部長 小松 洋一
有賀建設 株式会社	代表取締役 菅原 武士
山形放送 株式会社 鶴岡支社	支社長 鷺田 久
株式会社 日東軽金 鶴岡支店	支店長 佐藤 洋佑

住所変更

東北電機鉄工 株式会社 鶴岡支店	鶴岡市宝田二丁目7-4
レリック 合同会社	鶴岡市上畑町5-20
有限会社 ミートデリカ・クドー	鶴岡市朝陽町1-5

令和3年度 鶴岡商工会議所 総括収支予算

(単位:千円)

収入		支出	
会費	45,225	人件費	80,921
事業収入	88,761	管理費	11,762
補助金	51,676	事務費	13,051
その他	2,208	事業費	48,487
繰越金	4,000	その他	11,812
計	191,870	借入金返済	23,787
基金繰越金	95,578	予備費	2,000
特退金	168,000	計	191,820
合計	455,448	基金積立金	95,628
		特退金	168,000
		合計	455,448

定例常議員会報告

● 報告事項

- 1月～2月の各種会議報告
- 各部会開催報告(令和3年度当所事業に係る各部会からの意見・要望)
- 青年部活動報告
- 新型コロナウイルス感染症による影響への対応について

● 協議事項

- 新会員の承認について
- 3月通常議員総会について

● ゲストスピーチ

テーマ: コロナ禍における航空輸送と今後について
講師: 全日本空輸株式会社庄内支店 支店長 前田 誠氏

● 報告事項

- 3月の各種会議報告
- 議員の職務を行う者の変更について
- 総務委員会開催報告
- 企業活性化委員会開催報告
- 地域活性化委員会開催報告
- 雇用・人材育成委員会開催報告
- 社会基盤整備委員会開催報告
- 建設工業部会「鶴岡市建設当局との懇談会」開催報告
- 「鶴岡ものづくり企業懇談会」開催報告
- 「ビジネスマッチ東北2021春」報告

● 協議事項

- 新会員の承認について
- 職員給与規則及び臨時職員就業規則の一部改正について
- 3月通常議員総会に付議する事項

● その他

- 令和3年度の鶴岡市予算について

- ・新型コロナウイルス感染症による影響調査及び経済施策の情報提供
- ・AI、デジタル化、キャッシュレス、SDGsなど、今後の経営戦略に資するセミナーの開催
- ・移動商工会議所の開催
- ② 新規創業、持続的経営、事業承継の推進
 - ・経営分析・事業計画策定に資するセミナーの開催
 - ・創業、事業発展、事業承継に資するセミナーの開催
 - ・事業計画策定後のフォローアップ
- ③ 補助金・融資制度の活用支援
 - ・やまがたチャレンジ創業助成金の活用支援
 - ・経営改善資金等各種融資制度の活用支援
 - ・持続化補助金、コロナ関連施策等の活用支援
 - ・消費税関連施策の活用支援
- ④ 経営指導員等による指導・相談の充実
 - ・経営指導員による巡回・窓口指導
 - ・専門相談員、鶴岡ビジネス応援隊等による個別指導
 - ・経営安定特別相談
 - ・記帳及び決算の指導
 - ・BIZミルシステムの導入
 - ・経営指導員等の研修

2.重点事業の推進

(1) 地域内での消費・取引の拡大、他地域への販路開拓に向けた取組みの強化

- ① 販路開拓セミナーの開催
- ② ビジネスマッチ東北への出展支援
- ③ うまいもんマルシェへの出展支援
- ④ 会員事業所の取引・販路拡大に向けた情報提供

(2) 観光誘客に向けた取組みの強化

- ① 観光誘客に資するセミナーの開催
- ② 市民・県民の地域内旅行に向けた情報の提供
- ③ 鶴岡ツーリズムビューローと連携した首都圏等における観光誘客

3.会議所機能の強化

(1) 会議所の地域プロデュース機能・コーディネート機能の発揮

- ① 部会、青年部及び女性会活動の活性化
- ② 地域活性化に係るキーパーソンとの交流
- ③ 次世代の産業・経済リーダーの育成に資する研修会の開催
- ④ 政策提言・要望活動の拡充
 - ・鶴岡市との意見交換及び要望・提言活動
 - ・山形県商工会議所連合会との連携による国・山形県への要望活動
 - ・地元選出の国会議員及び県議会議員との連携強化

(2) 会員事業所及び市民へのお役立ち度の向上

- ① 会員事業所に対するサービスの拡充
 - ・会議所報、ホームページ及びメールマガジンによる情報の提供
 - ・会員事業所従業者の表彰及び会員事業所の顕彰
 - ・会員のつどい及び新年祝賀会の開催
 - ・会員レクリエーション事業の実施
 - ・会員共済制度の加入促進
- ② 鶴岡・庄内を知る講座の開催

(3) 組織・財務基盤の強化

- ① 会員増強活動の拡充
- ② 会員共済制度の加入促進(再掲)
- ③ OJT、研修会参加、資格取得の奨励等による職員の資質向上
- ④ 日本商工会議所等の補助金の導入